

「第2回 中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」を開催

中国総合通信局（局長：本間 祐次）、一般社団法人中国経済連合会（会長：苅田 知英）及び、中国情報通信懇談会（会長：苅田 知英）は共同で、令和元年9月6日、中国地域におけるオープンデータの利活用を推進し、地域課題の解決を目指すための「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」の第2回会合を中国総合通信局の会議室で開催いたしました。

同会合では、「広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会」で既に検討を進めておられる国土交通省中国地方整備局、中国運輸局からもメンバに参加頂き、同検討会での検討結果を基にしたご意見をいただきながら、①公共交通分野での必要なデータリスト作成（テーマ1：防災（公共交通））また、倉敷市真備地区の浸水被害を事例として、②水害分野でのオープンデータ推奨データセットテンプレートの提示（テーマ2：防災（水害））について議論が行われ、オープンデータの実情は地域や事業者によって様々であり、そのことを踏まえた議論を進めるべき等、それぞれの立場からの意見を多数頂戴いたしました。

第2回会合には、大学、企業、地方公共団体、国の機関の職員など18名のラウンドテーブルメンバが参加し活発な意見交換が行われました。

この会合は今年、さらに2回の開催を予定しており（全4回）、今年度内には議論と作業を終了する予定です。

また、会合の結果は地方公共団体等へ情報発信することにより、防災・減災に役立て、中国地域のオープンデータの更なる利活用促進に努めていくことにしています。



第2回会合の様子